

## は じ め に

平成13年に神戸地域ビジョン委員会が発足し、2期3年半がすぎました。「神戸地域ビジョン ～21世紀への夢提案～」に描かれた神戸地域の将来像の実現に向けて「できるところからはじめましょう。さあ、楽しもう神戸」と、そのプロセスへの取り組みに向けた神戸地域県民行動プログラムを携えて、委員の具体的で多様な実践活動が進められてきました。

第2期神戸地域ビジョン委員会では、農都・神戸、六甲山の楽しみ方、留学生と地域、商店街と地域の結びつけ、環境・循環型社会、地域での子育て支援、青少年育成、高齢者が高齢者のお世話をする、地域づくりの様々な担い手の連携と、一芸の楽校ネットワークを主なテーマとし、これら10のグループにより実践活動を展開しました。その2年目となる平成16年度は、六甲山でのウォーキングや家庭での生ごみ堆肥化の実験、青少年の居場所作りフォーラム等、より具体的、実践的な活動が多く見られました。

「神戸地域県民行動プログラム –神戸地域ビジョンの実現のための行動提案（第4集）」は、この1年間のビジョン委員会活動のとりまとめを行ったものです。10のグループの活動の概要、さまざまなテーマで開催された13回の夢会議の内容、そして2期委員の皆さんには、地域での実践活動やビジョン委員としての活動内容について報告していただきました。これらの取り組みの現状から多くの教訓を汲み取っていただき、神戸らしい魅力をもっと高めようとそれぞれの場で主体的に活動されている皆さんの一助となればと思います。

4月からは、第3期神戸地域ビジョン委員会の活動が始まります。委員会としましては、2期から引き続き委員として活動を進めていただく方および、3期で新たに委員となって活動していただく方に、互いに提案を持ち寄っていただき、県民行動プログラムの実践活動をより一層積極的に進めていただきたいと思います。多様なテーマで取り組まれる豊富な活動の積み重ねが、「楽しいまち・神戸」の実現につながっていけばと思います。

2005年3月

神戸地域ビジョン委員会委員長 山口 一史